

# 笑顔☆かがやく

芦屋市立山手小学校長 井岡 祥一

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査結果について（お知らせ）

本年度4月に実施されました全国学力・学習状況調査の結果につきまして、その概要（大まかな内容）と学校としての取り組みの方向性をお知らせします。

なお、お知らせする調査結果の概要（大まかな内容）は、本年度の第6学年児童、及び、特定教科（国語・算数）のみの調査結果です。よって、全ての実態とともに山手小学校全児童の状況を示すものではなく、あくまでも今後の指導改善・工夫に活用していくためのものであることをご理解ください。

### 1 調査の概要（大まかな内容）

#### （1）調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

（2）実施日 令和5年4月18日（火）

（3）調査対象 第6学年

（4）調査内容 ① 知識・技能「国語 算数」  
② 思考・判断・表現「国語 算数」  
③ 生活面及び学習面に関する質問紙調査

※調査の詳細については、<http://www.nier.go.jp/index.html>（トピックス：学力学習状況調査）に掲載されています。

### 2 教科に関する調査結果及び考察

全国平均正答率を100とし、95未満を「課題有」△ 95以上105未満を「おおむね良好」○ 105以上115未満を「良好」◎ 115以上を「極めて良好」☆で表します。

（全体）

教科	国語	算数
結果	☆	☆

全国平均と比較して、国語、算数ともに「極めて良好」となっており、評価できる結果となっています。

(1) 国語

学習指導要領の内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	◎	○どの内容においても、国語に関する能力があり、理解ができています。 △「川村さんの文章」の問題において、特に見られた、相手の意図を理解して、複数の条件を満たして記述することに、若干の課題が見られる。
		情報の扱い方に関する事項	☆	
	思考力、判断力、表現力等	話すこと・聞くこと	☆	
		書くこと	☆	
	読むこと	☆		

【特に正答率が低かった問題】

「12【川村さんの文章】の空欄に学校の米作りの問題点と解決方法を書く」問題です。出題の趣旨は、「図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかどうかを見る。」というものです。正答率は、38.0%となっており、全国平均(26.7%)を上回っているものの、多くの児童が苦勞した問題です。

その理由は、【川村さんの文章】で川村さんが何を伝えたいのかをしっかりとらえた上で、正答の条件①学校の米作りの問題点を、⑦【川村さんの文章】のグラフからわかることと④【カード④】からわかることを書くこと、さらに、正答の条件②問題点の解決方法を、【カード⑤】をもとにして書くことすべての条件を満たして書かなければならないからです。一番多かった誤答は、条件①⑦または条件①④を満たしていないものでした。書かなければならないポイントは、グラフから読み取れる、雑草が増加していること、【カード④】にある、雑草による影響(収穫が減ること)、【カード⑤】にある、解決方法が書けていれば正解になります。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りに関する課題とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米を収穫することができました。しかし、収穫までにはいくつかの問題がありました。その中でも特に悩んだのは、雑草の増加による収穫量の減少です。

5月15日に学校の田んぼは1.5haを確保しました。6月の終わりまで、毎日1回、除草の3人で除草取りを行いました。7月1日に除草が完了して、収穫の準備ができました。その結果、雑草の増加による収穫量の減少は、約10%減少しました。この結果は7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

このようにして取り組み、収穫の準備ができました。

(2) 算数

学習指導要領の領域	数と計算	☆	○どの領域においても、バランスよく理解できている。 △意味や性質、求め方(公式など)を活用した問題に若干の課題が見られる。
	図形	☆	
	変化と関係	☆	
	データの活用	☆	

14. さいごに、下の図を直線で切って、下のようになど2つの三角形をつくりなさい。

上の図と他の三角形の面積について、どのようなことおわかりですか。下の1から4までの中から1つを選んで、その番号を書きなさい。また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きなさい。

- 1 左の面積のほうが大きい。
- 2 右の面積のほうが大きい。
- 3 両方の面積は同じ。
- 4 両方の面積は、このままでは比べることができない。

【特に正答率が低かった問題】

この問題は、「高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる」ものです。正答率は、47.0%で、全国平均(20.8%)を上回っているものの、半数以上の児童が苦勞した問題です。一番多かった誤答は、3以外の30.0%で、「面積が違う」と答えたものでした。そのうち、「このままでは比べられない」を選択した児童は、14.0%となっていました。高さの数値が示されておらず、数値で面積が求められないことが大きな原因ととらえています。3の「面積は同じ」と回答した児童の中にも、理由に高さと同じであることについての記載がない割合が多く見られました。

### (3) 全体を通して

今回の調査では、無回答率も低く、最後まであきらめずに問題に取り組むことができたことは、大変いい傾向です。「記述式」の問題に対する正答率も、全国と比較して高いこともわかりました。しかし、「記述式」の中で、今回紹介したような課題も見られました。課題解決に向けて、相手の意図をしっかりとらえたり、数値で表すことができなくとも、「考え方」など根底にあるものをしっかりと理解したりするために、「共に学びを作り合う子どもを求めて～相手の考えをよくきき、それを基に自分の考えを持ち、深めることができる子どもの育成～」をテーマに、すでに知っていることでも、「きく（聴く、訊く）」活動を通して、対話を充実させ、より深い学び・理解へとつなげる指導を行っていきたいと考えています。

### 3 「児童質問紙」に関する調査結果及び考察

生活面及び学習面で、児童にアンケート形式で調査した結果を表しています。調査項目の中から、25項目を抜粋し、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の項目を合わせたものを全国平均と比較して掲載します。

	内 容	本校 (%)	全国 (%)
1	朝食を毎日食べていますか。	91.0	83.9
2	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。	80.0	81.0
3	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。	92.0	90.5
4	自分には、よいところがありますか。	84.0	83.5
5	将来の夢や目標をもっていますか。	76.0	81.5
6	人が困っているときは、進んで助けていますか。	84.0	91.6
7	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	95.0	96.9
8	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	93.0	95.9
9	学校に行くのは楽しいと思いますか。	72.0	85.3
10	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか。	54.0	76.5
11	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	73.0	70.7
12	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（3時間以上の割合）	46.0	11.8
13	学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。（1時間以上の割合）	27.0	18.6
14	読書は好きですか。	65.0	71.8
15	今住んでいる地域の行事に参加していますか。	42.0	57.8
16	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。	66.0	63.7
17	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。	75.0	78.8
18	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。	70.0	81.8

19	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか。	79.0	83.6
20	国語の勉強は好きですか。	67.0	61.5
21	国語の勉強は大切だと思いますか。	97.0	94.2
22	国語の授業の内容はよくわかりますか。	82.0	85.7
23	算数の勉強は好きですか。	64.0	61.4
24	算数の勉強は大切だと思いますか。	95.0	94.2
25	算数の授業の内容はよくわかりますか。	81.0	81.2

- 生活のリズムに関する項目（1、2、3）で、「同じくらいの時刻に寝る」割合と「同じくらいの時刻に起きる」割合は全国平均とほぼ変わりませんが、10ポイント以上の開きがあります。睡眠時間において、若干、不規則になっている状況が見られます。「朝食を毎日食べている」割合は、比較的高い割合になっていますが、睡眠・食事など規則正しい生活を意識して、日々の生活を送ってほしいと願います。
- 自尊感情にかかわる項目（4、5）で、将来の夢や目標をもっている割合が、低くなっています。しかし、「人の役に立つ人間になりたい」と思っている割合は、高いです。これも目標であり、夢につながる指針になると思われます。何事にもチャレンジし、夢や目標を模索し続けてほしいと願います。自分のよさについては、全国とほぼ変わらない状況ですが、自分のよさを実感できるような機会や声かけを増やし、さらに自分に自信をもてるようにしてまいりたいと考えます。ご家庭でも、お子様の小さな変化（良いところ）を積極的に見つけていただき、声をかけていただければ幸いです。
- 他者を思いやる（相手のことを考える）ことにかかわる項目（6、7、8、15）で、特に、「人が困っているときは、進んで助けていますか。」の問いに対して、90%を切っています。「相手のことを考え」自分にできる小さなことから行動することが大切です。そこから、地域にも目を向け、「相手意識」をしっかり持ち、他者を思いやる（相手のことを考える）ことがしっかりとできる子どもたちに育てたいと考えます。今後も保護者・地域の方々と連携し、同じ方向性をもって取り組んでいきたいと思います。
- 達成感や充実感に係る項目（9、10）で、全国と比較して10～20ポイント低い数値となっています。学校という社会の小さな集団の中で、周りから様々な刺激を受け、多様な考え方を身につけ、自分自身を高めていく楽しさを感じてほしいと願います。そして、将来、「人の役に立つ人間」として、社会で活躍することを応援したいと思っています。
- 読書に関する項目（13、14）で、読書を好きだと答えている割合が全国と比べて、若干少ない状況にあります。読書は、様々な「見方・考え方」を学ぶことができ、自分の世界を広げることができる活動です。いろんなジャンルの本の紹介や本から学んだことなどを紹介しながら、子どもたちの読書の世界を広げていけるよう工夫していきたいと思います。
- 学び方に関する項目（11、12、16、17、18、19）で、特に項目18の割合が全国と比べて、10ポイント低い状況です。話し合う活動では、発表（話す）は自分の考えを出す「アウトプット」です。「アウトプット」をした後に、自分の考えに対する相手の考えを「インプット（聴く）」し、さらに相手の考えを活かし「アウトプット」する。「アウトプット」→「インプット」→「アウトプット」をしっかり意識することで、自分の考えを深めたり、広げたりすることができます。今後も、「相手意識」を持って、「きく（聴く、訊く）」活動を通して、子どもたちの学びを深めてまいります。
- 教科に関する項目（20、21、22、23、24、25）で、「国語・算数」は大切だと思っている割合が高いです。この、「大切」と思っている心を大切に、苦手なことにもチャレンジし、「好き」と思える気持ちを今よりも高めてほしいと願います。